

**年末年始における
地域安全運動・交通事故防止県民総ぐるみ運動**

運動期間 12月10日～1月7日

年末年始に犯罪や事故に遭わず、市民の皆さんが明るい新年を迎えられるよう「地域安全運動」と「交通事故防止運動」を実施します。

防犯協会、交通安全協会、交通安全母の会、学校、皆さんの職場等が実施する各種運動にご協力ください。

地域安全運動

■みんなでつろう安心の街

隣近所とのあいさつ、声かけの実施のほか、不審者を発見したときは速やかに警察署に通報しましょう。

■一戸一灯防犯運動

各家庭で門灯や玄関灯を点灯させ、夜間でも街全体を明るくし、犯罪を防ぐ環境をつくりましょう。

■振り込め詐欺にご注意を！

お金の振り込みを求める電話があったら、振り込む前に家族や警察署、金融機関の職員に相談しましょう。

また、電話の相手が次のような言葉を使用したら、振り込め詐欺を疑いましょう。

- ・携帯電話番号が変わった・風邪をひいて声がおかしい
- ・ATMに行って、言うとおりにATMを操作して
- ・〇〇(他人名義)さんの口座に振り込んで

交通事故防止運動

■飲酒運転絶対に「しない、させない」

年末年始は、忘年会などお酒を飲む機会が増える時期です。飲酒した際は絶対に運転してはいけません。どうしても車で行かなければならない場合には「ハンドルキーパー」を決めておきましょう。また、運転する可能性がある人にお酒を勧めてはいけません。

■ライトは早めの点灯・こまめに切り替えを！

冬場は、特に夕暮れ時と夜間の交通事故が多発する時期です。「PM 4(ピーエム・フォー)ライトオン運動」に取り組みしましょう。また、周囲の状況に応じたライトのこまめな切り替え(上向き・下向き)を心掛けましょう。

■全席シートベルトの着用を徹底しましょう！

シートベルトをしていないと、事故の際に車外に投げ出される危険性が高くなります。運転手は「全席シートベルト着用」を確認してから発車するようにしましょう。

(生活環境課)

積雪の季節です!「市道除雪」のお知らせ

12月から3月までの冬期間に、積雪が15cm以上に達した場合、主要な市道について除雪作業を行います。

除雪方法 除雪作業はグレーダー等で行います。

除雪時間 通勤通学の時間帯までに終了する予定です。(除雪に時間がかかる場合がありますので、あらかじめご承知ください。)

市道除雪路線 道路維持課および各支所産業建設課に備え付けの除雪路線図をお気軽にご覧ください。

市民の皆さんへのお願い“ご理解とご協力を”

除雪車通過後の道路脇(皆さんの出入り口)の溜まり雪については、お手数ですが各自で除雪願います。

市道除雪ボランティア募集～市も一部支援～

ボランティアの内容

活動の内容

市道の除雪、除雪用具等の保管、作業の実施報告

市が支援する内容

除雪用具の貸与、農耕機械等を利用して除雪した場合の燃料支給、融雪剤、滑り止め砂等の支給

応募条件

対象となる団体

住民グループや企業・各種団体など地域の方々を対象に**5人以上で構成**され、継続かつ安定的な活動ができる団体

対象となる道路

原則として市道のみ

対象となる除雪延長

実施延長200m以上

申請の方法

道路維持課に備え付けの申請書に必要事項を記入のうえ提出してください。

◎問い合わせ・申し込み…道路維持課維持係☎(55)5125
または各支所産業建設課



今話題の『天地明察』は、平安時代から八百年にわたって使われていた宣明暦のズレが大きな問題になり始め、新しい暦をつくるという大計画です。

四代将軍・徳川家綱の後見人である保科正之は、改暦のリーダーに、幕府の基家、安井家の安井算哲(後の渋川春海)を大抜擢します。

新しい暦を作る計画は、全国各地を回り、北極星の高度を測り、その土地の緯度を計測するという星や太陽の観測という途方もない労力と、その観測をもとに天文学、高度な数学を必要とします。

ここで問題になるのが高度な算術Ⅱ数学です。算術者には有名な渋谷の宮益坂の金王八幡宮に算学絵馬を奉納に行く。春海が一番気になった算学絵馬の間が、高名を馳せていた和算家・磯村吉徳の題であった。

磯村吉徳は、二本松藩に

召かれ、江戸で「磯村塾」を開き、和算家として多くの弟子を輩出し、また算術書の中では極めて優れ、あがめ奉られている和算書「算法疑抄」があります。晴海は磯村塾を訪ねます。

算哲を慕い妻となったえんや、天地の理を知る喜び、算術や天文学に魅入られた人たちの出会い、支えを受け、生涯を賭けた改暦に挑み、四度の改暦上奏を試みる。

五代将軍綱吉の治世下に、朝廷側の大統暦と幕府方の大和暦の雌雄が決められて、一六八四年十月二十九日、新暦が發布された。

『天地明察』を読み、日本の天文学や数学、教育、文化のレベルの高さを改めて知ることができました。

さらに、二本松に磯村吉徳など日本を代表する著名な学者や文人を招聘し、藩政を行った丹羽光重公の慧眼に敬服しております。

磯村吉徳の設計により城の防火と防備、農業、生活用水路として開削された二合田用水。今も多くのの人々によって守られ広大な大地を潤している。

二本松の「天地」のこのわりを「明察」とするために、新たな二本松を拓いてまいります。